

- 令和7年2月26日に岩手県大船渡市において発生した大規模な林野火災を受け、消防庁及び林野庁は「大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」を開催し、今後取り組むべき火災予防のあり方等について検討を行い、8月に報告書を取りまとめました。
- 本報告書を受け、気象庁は消防庁及び林野庁とともに、記録的な少雨時において火の取り扱いに対する注意喚起を行う新たな取組を開始します。

## 令和6～7年冬の少雨について

- ・ 令和6～7年の冬は、東日本から西日本の太平洋側で降水量が少なく、統計を開始した昭和21～22年の冬以降で1位の少雨となった。
- ・ 記録的な少雨となった地域で大規模な林野火災が発生した。

期間降水量(平年比)の分布 [R6.12～R7.2]



令和7年の主な林野火災事例 (ha)

No	出火日	市町村	焼損面積
①	2/19	岩手県大船渡市	324
②	2/26	岩手県大船渡市	3,370
③	2/26	山梨県大月市	107
④	3/23	岡山県岡山市・玉野市	486
⑤	3/23	愛媛県今治市・西条市	482
⑥	3/23	熊本県南阿蘇村	220

※ 焼損面積 3,370haは昭和39年以降で最大

検討会において  
対策を検討

## 令和8年1月～

### ①「少雨に関する気象情報」を利用した 林野火災への注意喚起 [運用期間：1月～5月]

気象庁ではこれまで林野火災を明示した情報を発表していませんでしたが、今後は、記録的な少雨時に発表する「少雨に関する気象情報」において新たに林野火災を明示して火の取り扱いに注意を呼びかけます。

少雨に関する気象情報  
令和x年x月x日 ○○管区气象台 発表

○○地方では、1月中旬から降水量の少ない状態が続き、記録的な少雨となっています。

記録的な少雨になった令和7年には、冬から春にかけて大規模な林野火災が多く発生しました。火の取り扱いに十分注意してください。

(気象情報の例)

### ② 臨時の記者会見の開催 [運用期間：1月～5月]

少雨の地域に全国的な広がりがある場合には、気象庁は消防庁及び林野庁とともに合同記者会見を開き、気象状況等を解説するとともに林野火災への注意喚起を行う新たな取組を開始します。

### ③ 林野火災予防ポータルサイトの開設 [12/17公開]

気象庁HPにおいて、乾燥注意報、強風注意報の発表状況や降水量等の各種気象情報を集約した林野火災予防のためのポータルサイトを新たに開設します。

#### 林野火災予防ポータルサイト

- ・ 気象庁の気象情報、気象庁の気象情報
- ・ 気象庁の気象情報

このページでは林野火災予防に関する気象情報や気象情報について掲載しています。

現在の気象状況

気象庁が発表する気象情報は、気象庁の気象情報に基づいて作成されています。

また、気象庁の気象情報は、気象庁の気象情報に基づいて作成されています。

○ 乾燥注意報

○ 乾燥注意報

○ 降水量

○ 最新の気象データ (気象庁) ... 12月

○ 気象庁の気象情報 (気象庁) ... 12月

○ 気象庁の気象情報 (気象庁) ... 12月



### ④ SNS等による情報発信の強化 [随時]

記録的な少雨時や林野火災の多発時に X(旧Twitter)等を通じた注意喚起を行います。